

# プログラム

## 教育講演Ⅰ

11月10日(金) (13:15~14:15)

座長: 永山敏廣 (明治薬科大学)

発がん性があるとはどういうことか

青山博昭 ((一財)残留農薬研究所)

## 教育講演Ⅱ

11月10日(金) (14:15~15:15)

座長: 小西良子 (麻布大学)

行政支援のための産地判別技術~現状と課題~

寺田昌市 ((独)農林水産消費安全技術センター)

## 教育講演Ⅲ

11月10日(金) (15:30~16:30)

座長: 木村 凡 (東京海洋大学)

ノロウイルス食中毒一刻みのりを原因とした大規模な食中毒事例を踏まえー

宗村佳子 (東京都健康安全研究センター)

11月9日(木) (13:30~14:30)

座長: 木村 凡 (東京海洋大学)

### 学会賞

食品を汚染する真菌性および寄生虫性危害要因の検出法開発とリスク評価に関する研究

小西良子 (麻布大学)

### 奨励賞

乳幼児用玩具および食品用器具・容器包装に含まれる化学物質の実態調査に関する研究

阿部 裕 (国立医薬品食品衛生研究所)

フザリウムトキシンの分析法の開発および汚染実態調査に関する研究

吉成知也 (国立医薬品食品衛生研究所)

---

## 一般研究発表

### 口頭発表

#### 一般発表A会場 (大ホール)

11月9日(木) 午前の部 (9:45~11:45)

9:45~10:45 座長: 大城直雅 (国立医薬品食品衛生研究所)

9:45 A-01 固相蛍光法によるオクラトキシンAの簡易スクリーニング法の開発

○岡 紋乃<sup>1)</sup>, 山本良平<sup>1)</sup>, 山本 敦<sup>1)</sup>, 三宅司郎<sup>2)</sup>, 河野 猛<sup>2)</sup>, 東海林秀典<sup>3)</sup>, 加藤祐史<sup>3)</sup> <sup>1)</sup>中部大学, <sup>2)</sup>(株)堀場製作所, <sup>3)</sup>東海光学(株)

10:00 A-02 トリコテセンC-4位水酸化酵素の欠損がもたらす側鎖多様性

○田中佑弥<sup>1)</sup>, 杉浦涼介<sup>1)</sup>, 田中 彰<sup>2)</sup>, 前田一行<sup>1)</sup>, 新海航輝<sup>2)</sup>, 松井宏介<sup>2)</sup>, 中嶋佑一<sup>1)</sup>, 吉成知也<sup>3)</sup>, 金丸京子<sup>1)</sup>, 小林哲夫<sup>1)</sup>, 安藤直子<sup>2)</sup>, 木村 真<sup>1)</sup> <sup>1)</sup>名古屋大学大学院, <sup>2)</sup>東洋大学, <sup>3)</sup>国立医薬品食品衛生研究所

10:15 A-03 LC-MS/MSにより算出した大阪湾に自生するイガイ中の麻痺性貝毒の毒力について

○仲谷 正, 昌山 敦, 清田恭平, 角谷直哉, 山口之彦, 山野哲夫 (地独)大阪健康安

全基盤研究所

- 10:30 A-04 イムノクロマト法を用いた麻痺性貝毒検出法の開発  
○柴原裕亮<sup>1)</sup>, 大橋拓未<sup>1)</sup>, 近藤忠宗<sup>1)</sup>, 奥 裕一<sup>1)</sup>, 及川 寛<sup>2)</sup>, 松嶋良次<sup>2)</sup>, 渡邊龍一<sup>2)</sup>, 内田 肇<sup>2)</sup>, 川津健太郎<sup>3)</sup> <sup>1)</sup>日水製薬(株), <sup>2)</sup>(国研)水産研究・教育機構中央水産研究所, <sup>3)</sup>(地独)大阪健康安全基盤研究所
- 10:45~11:45 座長: 木村圭介 (東京都健康安全研究センター)
- 10:45 A-05 LC-MS/MSによるシガトキシン分析法の検討  
○永江美加<sup>1)</sup>, 五十嵐友二<sup>1)</sup>, 國吉杏子<sup>2)</sup>, 大城直雅<sup>2)</sup>, 安元 健<sup>1)</sup> <sup>1)</sup>(一財)日本食品分析センター, <sup>2)</sup>国立医薬品食品衛生研究所
- 11:00 A-06 LC-MS/MSによるドクウツボのシガトキシン類分析  
○大久保博英<sup>1,2)</sup>, 伊藤茉美<sup>3)</sup>, 國吉杏子<sup>1)</sup>, 小島 尚<sup>2)</sup>, 立原一憲<sup>4)</sup>, 朝倉 宏<sup>1)</sup>, 安元 健<sup>5)</sup>, 大城直雅<sup>1)</sup> <sup>1)</sup>国立医薬品食品衛生研究所, <sup>2)</sup>帝京科学大学, <sup>3)</sup>琉球大学大学院, <sup>4)</sup>琉球大学, <sup>5)</sup>(一財)日本食品分析センター
- 11:15 A-07 西表島産バラフエダイ *Lutjanus bohar* のシガテラ毒量測定と煮調理による毒の移動および消化管内容物の同定について  
○日比慶久<sup>1)</sup>, 大城直雅<sup>2)</sup>, 河野裕美<sup>1)</sup>, 齋藤俊郎<sup>1)</sup> <sup>1)</sup>東海大学, <sup>2)</sup>国立医薬品食品衛生研究所
- 11:30 A-08 コモンフグ筋肉から検出されたテトロドトキシンの由来  
○大城直雅<sup>1)</sup>, 杉田典子<sup>1,2)</sup>, 山田拓磨<sup>1,2)</sup>, 山元繁秀<sup>1,2)</sup>, 國吉杏子<sup>1)</sup>, 中島安基江<sup>3)</sup>, 安西洋一<sup>4)</sup>, 松浦啓一<sup>5)</sup>, 朝倉 宏<sup>1)</sup> <sup>1)</sup>国立医薬品食品衛生研究所, <sup>2)</sup>明治薬科大学, <sup>3)</sup>広島県立総合技術研究所保健環境センター, <sup>4)</sup>広島市健康福祉局保健部, <sup>5)</sup>国立科学博物館

11月9日(木) 午後の部 (15:00~16:00)

- 15:00~16:00 座長: 吉田信一郎 ((一財)日本食品分析センター)
- 15:00 A-09 LC-MS/MSを用いたブドウ球菌エンテロトキシン分析法の検討  
○吉光真人, 余野木伸哉, 川津健太郎, 梶村計志 (地独)大阪健康安全基盤研究所
- 15:15 A-10 作業性を向上させたノロウイルスG1・G2同時定量試薬の開発  
○肥山貴圭, 山崎友実, 黒板敏弘 東洋紡(株)
- 15:30 A-11 パンソルピントラップ法による食品からのノロウイルス遺伝子の検出  
○永田文宏<sup>1)</sup>, 上間 匡<sup>1)</sup>, 濱島洋介<sup>2)</sup>, 寺杣文男<sup>2)</sup>, 野田 衛<sup>1)</sup> <sup>1)</sup>国立医薬品食品衛生研究所, <sup>2)</sup>和歌山県環境衛生研究センター
- 15:45 A-12 ノロウイルスGII.17に対するパンソルピン・トラップ法の有効性に関する検討  
○斎藤博之<sup>1)</sup>, 秋野和華子<sup>1)</sup>, 佐藤寛子<sup>1)</sup>, 清水優子<sup>2)</sup>, 早川 智<sup>2)</sup>, 牛島廣治<sup>2)</sup>, 野田 衛<sup>3)</sup> <sup>1)</sup>秋田県健康環境センター, <sup>2)</sup>日本大学, <sup>3)</sup>国立医薬品食品衛生研究所

一般発表A会場 (大ホール)

11月10日(金) 午前の部 (9:30~11:45)

- 9:30~10:15 座長: 六鹿元雄 (国立医薬品食品衛生研究所)
- 9:30 A-13 相対モル感度を利用した天然添加物ローズマリー抽出物中のカルノソールおよびカルノシン酸の定量分析  
○西崎雄三<sup>1)</sup>, 佐藤(増本)直子<sup>1)</sup>, 山崎太一<sup>2)</sup>, 黒江美穂<sup>2)</sup>, 沼田雅彦<sup>2)</sup>, 井原俊英<sup>2)</sup>, 杉本直樹<sup>1)</sup>, 佐藤恭子<sup>1)</sup> <sup>1)</sup>国立医薬品食品衛生研究所, <sup>2)</sup>(国研)産業技術総合研究所

- 9:45 A-14 ペットボトルから溶出する化学物質に関する検討 (0) 高分解能質量分析計を用いるノンターゲット分析による物質同定  
○山本敦史<sup>1)</sup>, 村上太郎<sup>2)</sup>, 岸 映里<sup>2)</sup>, 静間基博<sup>3)</sup>, 尾崎麻子<sup>2)</sup> <sup>1)</sup> 公立鳥取環境大学, <sup>2)</sup> (地独) 大阪健康安全基盤研究所, <sup>3)</sup> (地独) 大阪産業技術研究所
- 10:00 A-15 インターネット調査を活用したサプリメントが関係した有害事象の収集—有害事象として下痢に着目した調査—  
○梅垣敬三<sup>1)</sup>, 西島千陽<sup>1)</sup>, 尾関 彩<sup>1)</sup>, 千葉 剛<sup>1)</sup>, 佐藤陽子<sup>1)</sup>, 小林悦子<sup>1)</sup>, 山田 浩<sup>2)</sup> <sup>1)</sup> (国研) 医薬基盤・健康・栄養研究所, <sup>2)</sup> 静岡県立大学
- 10:15~11:00 座長: 大塚健治 (東京都健康安全研究センター)
- 10:15 A-16 オートクレーブ抽出法を用いたスパイス中クロロメコート, メピコートクロリド同時分析法の開発  
○大坪祥人, 坂本勝志, 中村彰子, 木村幸夫 日本エコテック(株)
- 10:30 A-17 STQ法(残留農薬一斉分析法)における抽出溶媒量の検討  
○小西賢治, 島 三記絵, 佐々野僚一, 斎藤 勲 (株)アイスティサイエンス
- 10:45 A-18 複数の内部標準物質を用いたGC-MS分析におけるマトリックス効果の補正  
○土山智之, 勝原美紀, 加藤晴康, 中島正博 名古屋市衛生研究所
- 11:00~11:45 座長: 今井浩一 (埼玉県衛生研究所)
- 11:00 A-19 高速溶媒抽出装置を用いたLC-MS/MSによる魚介類中有機スズ化合物分析法の検討  
○林 真輝, 田村康宏, 大谷陽範, 森岡みほ子, 橋本常生 東京都健康安全研究センター
- 11:15 A-20 畜産物中のアピラマイシン分析法の開発  
○志田(齊藤)静夏, 林 智子, 根本 了, 穂山 浩 国立医薬品食品衛生研究所
- 11:30 A-21 フェニルボロン酸カラム精製による畜水産食品中のアミノグリコシド系抗生物質の一斉分析法  
○藤井良昭, 加賀岳朗, 橋本 諭, 西村一彦 北海道立衛生研究所

## 一般発表B会場 (小ホール)

11月9日(木) 午前の部 (9:45~11:45)

9:45~10:45 座長: 藤川 浩 (東京農工大学)

- 9:45 B-01 キュウリに付着した大腸菌に対する熱湯殺菌の有効性  
○小林真紀子, 鈴木康規, 加藤 玲, 村内このみ, 樋口容子, 小西典子, 鈴木 淳, 平井昭彦, 貞升健志 東京都健康安全研究センター
- 10:00 B-02 高圧処理による養殖カキ中のノロウイルス汚染低減効果  
○今村彩貴<sup>1)</sup>, 金指大海<sup>1)</sup>, 五島朋子<sup>1)</sup>, 須藤篤史<sup>2)</sup>, 植木 洋<sup>3)</sup>, 菅原直子<sup>3)</sup>, 伊藤 博<sup>4)</sup>, 郷 碧珍<sup>5)</sup>, 上間 匡<sup>6)</sup>, 野田 衛<sup>6)</sup>, 秋元京子<sup>1)</sup> <sup>1)</sup> 農林水産省, <sup>2)</sup> 宮城県, <sup>3)</sup> 宮城県保健環境センター, <sup>4)</sup> 宮城県水産技術総合センター, <sup>5)</sup> (一財) 東京顕微鏡院, <sup>6)</sup> 国立医薬品食品衛生研究所
- 10:15 B-03 加熱変性リゾチーム配合アルコール製剤の様々な試験方法を用いた活性の検証  
○仲沢萌美<sup>1)</sup>, 石川翔子<sup>1)</sup>, 市川将弘<sup>1)</sup>, 兼田春奈<sup>1)</sup>, 笹原 亮<sup>1)</sup>, 與田昭一<sup>1)</sup>, 武内 章<sup>1)</sup>, 設樂弘之<sup>1)</sup>, 高橋 肇<sup>2)</sup> <sup>1)</sup> キューピー(株), <sup>2)</sup> 東京海洋大学
- 10:30 B-04 微酸性電解水を用いた主要食中毒菌およびノロウイルスに対する不活化効果の検証と手洗いへの応用

○岡倉優美子<sup>1)</sup>、高橋迪子<sup>1)</sup>、高橋 肇<sup>1)</sup>、中野由則<sup>2)</sup>、久田 孝<sup>1)</sup>、木村 凡<sup>1)</sup> <sup>1)</sup>東京海洋大学、<sup>2)</sup>(株)テックコーポレーション

10:45~11:45 座長: 上田成子 (女子栄養大学)

10:45 B-05 細菌の熱耐性、損傷菌発生におけるTAシステムの機能の解明  
○益田時光<sup>1)</sup>、坂本絵莉花<sup>2)</sup>、本城賢一<sup>1)</sup>、宮本敬久<sup>1)</sup> <sup>1)</sup>九州大学大学院農学研究院、<sup>2)</sup>九州大学農学部

11:00 B-06 精油の食中毒菌に対する抗菌効果の探索とその有効濃度の評価  
荒岡麗里奈<sup>1)</sup>、澤田恵実<sup>1)</sup>、西測光昭<sup>2)</sup>、○中口義次<sup>1),2)</sup> <sup>1)</sup>石川県立大学、<sup>2)</sup>京都大学

11:15 B-07 PMA-qPCR法を用いた殺菌効果の新たなモニタリング法  
○高橋 肇、宮村菜摘、會田吉祥、久田 孝、木村 凡 東京海洋大学

11:30 B-08 輸入食品リスクランキングモデルの構築  
○豊福 肇 山口大学

11月10日(金) 午前の部(9:30~11:45)

9:30~10:15 座長: 秋場高司 (アサヒグループ食品(株))

9:30 B-09 牛乳中の成分とリモネンの吸着について  
○青木里紗<sup>1)</sup>、徳田愛華<sup>2)</sup>、重村泰毅<sup>1)</sup>、佐藤吉朗<sup>2)</sup> <sup>1)</sup>東京家政大学、<sup>2)</sup>東京家政大学大学院

9:45 B-10 FT-IRを用いた樹脂の熱履歴の検証  
○工藤裕晃、宮下 隆 キューピー(株)

10:00 B-11 HPLCを用いた食品の加熱履歴推定に関する基礎的検討  
○関 友輔、遠藤由美、山川宏人 (株)日清製粉グループ本社

10:15~11:15 座長: 橋本博之 (千葉県衛生研究所)

10:15 B-12 オオグソクムシのアレルゲンは何か?  
○岩川織奈、大迫一史、嶋倉邦嘉、黒瀬光一 東京海洋大学

10:30 B-13 SINEを利用したサケ科魚類特異的な検出法の開発  
○畑中まどか、黒瀬光一 東京海洋大学

10:45 B-14 Real-Time PCRを用いたサバ属全4種検出法の開発  
○佐野雄基<sup>1)</sup>、西川真帆<sup>1)</sup>、矢野竹男<sup>2)</sup>、穂山 浩<sup>3)</sup>、黒瀬光一<sup>1)</sup> <sup>1)</sup>東京海洋大学、<sup>2)</sup>三重大学、<sup>3)</sup>国立医薬品食品衛生研究所

11:00 B-15 デジタルPCRによる組換えトウモロコシ定量スクリーニング法のコーンスターチへの適用  
○真野潤一<sup>1)</sup>、野間 聡<sup>2)</sup>、菊池洋介<sup>2)</sup>、福留真一<sup>2)</sup>、佐藤恵美<sup>3)</sup>、瀧屋俊幸<sup>3)</sup>、田中智樹<sup>3)</sup>、布藤 聡<sup>4)</sup>、曾我慶介<sup>5)</sup>、中村公亮<sup>5)</sup>、近藤一成<sup>5)</sup>、高嶋令王奈<sup>1)</sup>、橘田和美<sup>1)</sup> <sup>1)</sup>農研機構食品研究部門、<sup>2)</sup>(株)日清製粉グループ本社、<sup>3)</sup>日本製粉(株)、<sup>4)</sup>(株)ファスマック、<sup>5)</sup>国立医薬品食品衛生研究所

11:15~11:45 座長: 千葉隆司 (東京都健康安全研究センター)

11:15 B-16 ヒスタミン産生菌による食中毒予防に関する研究  
○鈴木梨沙、岡部とし子 相模女子大学

11:30 B-17 新規なATP+ADP+AMP清浄度検査キットLuciPac®A3の開発  
○田中菜津美<sup>1)</sup>、場家幹雄<sup>1)</sup>、鈴木繁哉<sup>2)</sup> <sup>1)</sup>キッコーマンバイオケミファ(株)、<sup>2)</sup>キッコーマン(株)